



本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
○「大六スタンダード」学習規律の定着	○年間指導計画の工夫	○楽しんで運動する児童の育成～体育授業の指導の工夫を通して～(R6)	○講師・各教員が連携し評価の共通理解を図る	○方面別集団下校	○大泉中学校、大泉小学校、大泉東小学校との4校での校区別協議会を通した学習指導、生活指導における情報交換
○主体的に伝え合う授業の実践	○学校行事計画の工夫	○年3回の授業研究	○小テストの工夫	○自転車点検・安全教室	○中学校紹介などの交流活動
○算数習熟度別少人数指導(全学年)	○週時程の工夫	○職員研修内容の重点化(○アレルギー対応)	○ポートフォリオ等個々の学習経過の記録	○道徳授業地区公開講座	○地域活動支援拠点・小中連携
○外国語・外国語活動・TT指導の充実	○読書月間・旬間(6月)(10月)(2月)	○組織的な指導力の向上	○学習の振り返りの工夫	○セーフティ教室	○子供家庭支援センターとの連携
○体験活動・言語活動の充実	○図書館活用年間計画の工夫	○課題探究型の学習の推進	○学校評議員・保護者・児童による意識調査	○情報モラル教室	
○ICT活用の推進(電子黒板・PC・実物投影機・タブレットPC等)	○なわとび月間	○地域との連携		○薬物乱用防止教室	
○学習サイクルの定着(めあて→学習活動→まとめ・振り返り)	○クローバー遊び	○区・都研究会への参加		○地域の施設・自然・人材等活用(○野菜栽培・地域安全マップ)	
	○体力向上旬間	○外国語活動(1~4年)		○南大泉図書館との連携による図書館活用の推進	
	○ペースランニング月間	○OJT研修(年8回)		○保育園と連携した学習	
	○あいさつ運動			○家庭支援センター・警察・消防署	
				○地域活動支援拠点	
				○子供家庭支援センター	
				○の連携	